

## 2019 年度 GSK 医学教育事業助成の概要

学会名

日本皮膚科学会

正式名称

皮膚科領域のスペシャリスト養成のための包括的教育プログラム

医学教育事業の概要

- ・学会総会における教育講演、スペシャリティーナース講習会、市民公開講座のリアルタイム視聴と後日視聴可能な仕組みを提供する e-learning システムの構築
- ・GRADE 方式に関する講習会のウェブコンテンツ化等新規企画の実施

医学教育事業の対象者

主な医療関係者： 医師  歯科医師  薬剤師  看護師  
 その他（ご記載ください。）

対象となる医療関係者の想定人数：13,000 人

医学教育事業の必要性 / 目的

常に進歩している皮膚科診療の状況の中、諸事情により当日参加できない、講演が重なり視聴できなかった講演を e-learning により視聴することで、知識向上等を図り、日常診療に生かす。診療の指針となるガイドラインの作成方法について、国による施策により現在 GRADE 方式での作成が求められている。同方式の WEB コンテンツ化を図り、ガイドラインを遅滞なく作成・改訂することで診療に役立てる。また、本学会が実施している研究やマネジメントを学ぶセミナーや媒体を一部改変することで、拾得できる場を広げる。各事業を展開することで、患者さんへの接し方や診療方法の拡充等、よりよい診療を提供することを目的としている。

医学教育事業の計画・方法等

e-learning については、年 1 回開催する日本皮膚科学会総会の教育講演を中心に展開する。また総会時に看護師を主に対象としているスペシャリティーナース講習会も加え、同講習会の内容を各支部学術大会時に上映することで、医師ばかりではなく、皮膚科医療に携わる看護師等にも知識向上を図っていただく。

ガイドラインの GRADE 方式については、海外の作成方式であり、未だ方法、概略、実務について十分な周知がされていないところがあり、GRADE に関する講習会の WEB 配信をすることで、学ぶ機会を増やし、ガイドラインの充実、質の向上を図っていく。

当学会の実施している Clinical Dermatology Leadership Seminar では、講座内容を一部座学でも学べるよう改変し展開する。キャリア支援事業 News Letter 内企画誌上セミナーについては、紙面上では伝えきれない内容を WEB 配信することで、伝えきれない内容の補完をしていく。

医学教育事業の効果の測定方法

e-learning については、視聴後の画面にアンケート画面を課し、意見聴衆を図っていく。またスペシャリティーナース講習会については、上映会の参加者の増加及び当学会の看護師資格者の増加をもって図る。

GRADE 講習会については、ガイドライン内に WEB 配信を参考にした旨の一文の明記を検討。

Clinical Dermatology Leadership Seminar 及びキャリア支援事業 News Letter 内企画誌上セミナーについては、それぞれ参加者に半年程度を目安に追跡調査を実施する。

医学教育事業の成果に対する情報共有について

GRADE 講習会については、講演者との相談により他科への公開が可能であれば各学会に対し、WEB 配信について周知を実施する。キャリア支援事業 News Letter 内企画誌上セミナーについては、これまでも実施しているが、各医学会、関係団体へ向け冊子の送付を行う。